

# 令和7年度 第1回 佐久市立近代美術館協議会 次第

日 時 令和7年8月6日(水) 15:30～16:55  
場 所 佐久市立近代美術館 視聴覚室

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 会長・会長職務代理選出

## 4 会議事項 (15:55～16:50)

- (1) 令和6年度事業報告について (10分)
- (2) 令和8年度以降の事業について (15分)
- (3) その他 (30分)

### ア 報告事項

- ・「佐久市立近代美術館」再整備に関する市民アンケート調査の結果について (20分)
- ・当館の現状と課題について (10分)

### イ 連絡事項

- ・第2回協議会の日程について

## 5 閉 会

# 令和6年度 近代美術館 事業報告

## 1 事業方針

美術文化振興のため、収蔵する美術品の保存管理を行って次世代に継承し、いつでも地域住民が美術鑑賞できるように展覧会等事業を行う。

地域住民が美術に親しみ、美術に関心を高める機会とするため、公募展・講演会・講習会等の事業を行う。

## 2 収蔵資料の状況

(点)

分野	日本画	油彩画	水彩画	素描	版画	彫刻	工芸	書	その他	二次資料	計
点数	873	945	68	275	254	173	233	463	129	37	3,450

(令和7年3月31日現在)

※令和6年度新収蔵資料 21点 (日本画3点、油彩画1点、版画14点、彫刻1点、書2点)

## 3 観覧者人数及び観覧料等収入の状況

### (1) 観覧者数

	観覧者数	開館日数	観覧者数/日	対前年度比増減率
令和元年度	11,096人	181日	61.3人	
令和2年度	5,899人	171日	34.5人	56.2%
令和3年度	9,789人	211日	46.3人	134.2%
令和4年度	7,737人	184日	42.0人	90.7%
令和5年度	6,694人	212日	31.5人	75.0%
令和6年度目標	10,390人	221日	47.0人	149.2%
令和6年度結果	8,782人	221日	39.7人	126.0%

※令和2年度以降の観覧者数は展覧会を鑑賞しなかった入館者を含む

※令和3年度は令和2年度事業の第35回佐久平の美術展観覧者数を含む

### (2) 観覧料等収入

	観覧料	図録等取扱費
令和元年度	1,721,110円	182,010円
令和2年度	369,350円	150,975円
令和3年度	20,940円	200,704円
令和4年度	874,510円	267,468円
令和5年度	1,017,690円	202,344円
令和6年度	1,153,860円	179,250円

## 4 事業の概要

(1) 開館日数 221日 (令和5年度212日)

(2) 開館時間 9:30~17:00

(3) 観覧料 令和2年度から引き続き、令和4年5月8日(日)まで観覧無料を試行  
令和4年7月16日(土)から18歳未満及び高校生以下観覧無料を試行

(4) 開催展覧会

展覧会名	内 容	会 期	開館 (日)	観覧者 (人)
コレクション 2000-2022 新・収蔵品展—令和4年度収蔵— (目標観覧者数:1,240人)	【コレクション展】	4/1(月) —5/6(日)	31	514
現代書を拓く (目標観覧者数:1,280人)	【コレクション展】	5/18(土) —6/23(日)	32	472
平山郁夫のスケッチ帖—仏教の来た 道・シルクロードをたどる旅 佐久市立近代美術館 素描コレクショ ン (目標観覧者数:1,800人)	【企画展】 【コレクション展】	7/13(土) —9/1(日)	45	1,204
牧野一泉 日本画展—人型の向こう側— コレクション 創画の美術・佐久の美術 (目標観覧者数:1,800人)	【企画展】 【コレクション展】	9/14(土) —11/4(火)	45	1,277
第13回比田井天来・小琴顕彰 佐久全国臨書展 (目標観覧者数:1,400人)	(文化振興課所管事業)	11/23(土) —12/15(日)	19	1,335
第39回佐久平の美術展 同時開催 佐久平の美術展 第38回受賞者展 Saku LIFE コラボ企画「広報取材班 押し作品 展示します」 (目標観覧者数:1,000人)	地域の美術愛好家対象の 公募展	1/4(土) —1/26(日)	20	1,282
第20回佐久市児童生徒美術展 同時開催 第20回佐久市児童生徒写生大会作品展 スクール×ミュージアム 佐久市立近代美術館友の会作品展 (目標観覧者数:1,350人)	令和6年度中に市内小中学校 で児童生徒が制作した作品の 選抜展。「佐久市 日向裕・ 綾 美術振興基金」充当事業、	2/10(土) —2/25(日)	15	1,658
田村文雄版画展—虚が実を支配する— 「ふしぎ」な美術 新・収蔵品展—令和5年度収蔵— (目標観覧者数:520人)	【企画展】 【コレクション展】	3/15(土) —3/31(月)	14	471
			221	8,213

(5) 開催企画展（再掲）

① 平山郁夫のスケッチ帖—仏教の来た道・シルクロードをたどる旅

ア 会期 令和6年7月13日（土）～9月1日（日）開館日数45日

イ 観覧料 一般：600（500）円、学生410（310）円  
（ ）内は20名以上の団体料金

ウ 観覧者数（区分別の人数）

	人数	割合
一般	1,057人	87.8%
高校・大学生	71人	5.9%
小・中学生	62人	5.2%
就学前児童	14人	1.1%
計	1,204人	100.0%

エ 観覧者アンケートの結果（回収アンケート数210人）

	回答数	割合
とても良い	117人	55.7%
良い	79人	37.6%
普通	9人	4.3%
あまり良くない	—人	—
良くない	—人	—
（記入無し）	5人	2.4%
計	210人	100%

オ 企画展関連イベント等

（ア）ワークショップ「美術館で模写してみよう」

- ・開催日時 7月27日（土）10：00～12：00
- ・参加人数 8人

（イ）講演会「平山郁夫—仏教の道をたどって」

- ・開催日時 8月24日（土）14：00～16：00
- ・講師 大塚裕一（平山郁夫シルクロード美術館 学芸室長）
- ・参加者数 48人

② 牧野一泉 日本画展—人型の向こう側—

ア 会期 令和6年9月14日(土)～11月4日(火) 開館日数45日

イ 観覧料 一般：600(500)円、学生410(310)円  
( )内は20名以上の団体料金

ウ 観覧者数(区分別の人数)

	人数	割合
一般	1,144人	89.6%
高校・大学生	24人	1.9%
小・中学生	87人	6.8%
就学前児童	22人	1.7%
計	1,277人	100.0%

エ 観覧者アンケートの結果(回収アンケート数188人)

	回答数	割合
とても良い	81人	43.3%
良い	75人	40.1%
普通	20人	10.7%
あまり良くない	—人	—
良くない	—人	—
(記入無し)	4人	2.1%
計	188人	100%

オ 企画展関連イベント等

(ア) 開会記念「牧野一泉ギャラリートーク」

- ・開催日時 9月14日(土) 10:00～11:00
- ・参加人数 37人

(イ) 牧野先生のワークショップ「絵を作ろう!」

- ・開催日時 10月19日(土) 14:00～16:00
- ・講師 牧野香里(日本画家)
- ・参加人数 15人

(ウ) ワークショップ「体験!Assemblage—日本画の材料を添えて」

- ・開催日時 11月2日(土) 13:30～16:00
- ・講師 須藤友丹(日本画家)
- ・参加人数 15人

③ 田村文雄版画展—虚が実を支配する—

ア 会期 令和7年3月15日(土)～3月31日(月) 開館日数14日

イ 観覧料 一般：600(500)円、学生410(310)円  
( )内は20名以上の団体料金

ウ 観覧者数(区分別の人数)

	人数	割合
一般	415人	88.1%
高校・大学生	5人	1.1%
小・中学生	37人	7.9%
就学前児童	14人	2.9%
計	471人	100.0%

エ 企画展関連イベント等

(ア) スペシャルギャラリートーク

- ・開催日時 3月23日(日) 14:00～15:00
- ・講師 清水美三子(女子美術大学 美術研究科美術専攻版画研究領域・芸術学部美術学科洋画専攻 教授)
- ・参加人数 8人

(イ) ワークショップ「ドライポイントを体験しよう！」

- ・開催日時 3月29日(土)
- ・講師 井出淳子(信州版画協会会員)
- ・参加人数 10人

(6) その他の開催イベント等

ア スタッフによる展覧会ガイド

- ・開催日時 6月8日(土) 14:00~15:00
- ・参加人数 4人
- ・開催日時 6月22日(土) 14:00~15:30
- ・参加人数 5人
- ・開催日時 7月20日(土) 14:00~15:00
- ・参加人数 8人
- ・開催日時 8月10日(土) 14:00~15:00
- ・参加人数 2人
- ・開催日時 8月31日(土) 14:00~15:00
- ・参加人数 13人
- ・開催日時 10月5日(日) 14:00~14:30
- ・参加人数 9人
- ・開催日時 10月27日(日) 14:00~14:30
- ・参加人数 1人

イ 対話型鑑賞

(ア) 絵を見ておしゃべり 鑑賞ツアー(1) こどもの回

- ・開催日時 5月4日(土) 10:00~10:50
- ・参加人数 13人

(イ) 絵を見ておしゃべり 鑑賞ツアー(2) 大人の回

- ・開催日時 5月4日(土) 14:00~14:50
- ・参加人数 5人

(ウ) 絵を見ておはなし 鑑賞ツアー(1) こどもの会

- ・開催日時 8月3日(土) 10:00~11:00
- ・参加人数 0人

(エ) 絵を見ておはなし 鑑賞ツアー(2) 大人の会

- ・開催日時 8月3日(土) 14:00~15:00
- ・参加人数 3人

(オ) 絵を見ておはなし 鑑賞ツアー(1) こどもの会

- ・開催日時 8月17日(土) 10:00~11:00
- ・参加人数 4人

(カ) 絵を見ておはなし 鑑賞ツアー(1) 大人の会

- ・開催日時 8月17日(土) 14:00~15:00
- ・参加人数 0人

ウ ワークショップ

(ア) 書道ワークショップ「書にあそぶ」(小中学生)

- ・開催日時 6月15日(土) 13:30~14:30
- ・講師 石飛博光(書家)・今和希子(助手・書家)
- ・参加人数 8人

(イ) 書道ワークショップ「書にあそぶ」(高校生以上)

- ・開催日時 6月15日(土) 15:00~16:30
- ・講師 石飛博光(書家)・今和希子(助手・書家)
- ・参加人数 10人

エ 第20回佐久市児童生徒写生大会

- ・開催日時 10月13日(日) 8:45~15:00
- ・会場 佐久市立近代美術館・駒場公園・茨城牧場長野支場
- ・参加人数 25人

オ 公募 第39回 佐久平の美術展(再掲)

- (ア) 会期 1月4日(土)~1月26日(日) 開館日数20日
- (イ) 主管 佐久平の美術展実行委員会
- (ウ) 審査員
  - ・岡村桂三郎(日本画家)
  - ・近藤昌美(画家)
  - ・瀧本光國(彫刻家・審査長)
- (エ) 展示作品数 74点(入選65点、審査員3点、実行委員6点)
- (オ) 観覧者数 1,282人(令和5年度821人)
- (カ) 応募状況

部 門	平面部門	立体造形部門	計
応募点数	59点	7点	66点
うち入選点数	58点	7点	65点
うち入賞点数	9点	1点	10点

※内訳

一般62人(平面56点・立体6点)、20歳未満3人(平面2点・立体1点)  
入賞作品内訳 最優秀賞1点、優秀賞2点、奨励賞4点、新人賞2点、  
新佐久市誕生20周年記念特別賞1点

(キ) 授賞式

- ・開催日時 1月13日(月) 14:00~14:45
- ・会 場 佐久市立近代美術館 視聴覚室

(ク) 作品鑑賞会

①受賞作品を中心に

- ・開催日時 1月13日(月) 14:45~15:30
- ・参加人数 40人
- ・講 師 瀧本光國(彫刻家)

②入選作品を中心に

- ・開催日時 1月18日(土) 14:00~15:00
- ・参加人数 40人
- ・講 師 近藤昌美(画家)

カ 日向裕・綾美術コンクール ギャラリートーク

- ・開催日時 2月15日(土) 11:00~11:50
- ・参加人数 50人

キ まちじゅう美術館(近代美術館以外での展示)

- ・展示場所及び点数  
浅間総合病院3点・シルバーランドきしの2点・コスモホール1点
- ・会期 通年(年1回展示替え)

ク 月替わりコレクション紹介

インターネットで収蔵美術品を楽しめるよう、通年(計12点)、収蔵美術品の  
写真をホームページで公開

ケ 第22回佐久市立近代美術館友の会作品展(佐久市立近代美術館友の会事業)

・会期 2月16日(日)～2月24日(月)

(7) 収蔵美術品修復事業

ア 修復作品 岩橋英遠「果樹園二題 北ぐにの春」「果樹園二題 冬来る頃」

イ 修復費用 1,282,600円

内、クラウドファンディング型ふるさと納税寄附金(11件/募集期間10/1～12/31)185,000円、寄附金(1件)50,000円を充当

# 令和8年度以降の事業に関する方針（案）について

## 1 事業方針

美術文化振興のため、収蔵する美術品の調査研究及び保存管理を行い次世代に継承し、地域住民が美術鑑賞できるように展覧会等事業を行う。

地域住民が美術に親しみ、美術に関心を高める機会とするため、公募展・講演会・講習会等の事業を行う。

## 2 企画展について

### (1) 書に関する展覧会

概要：佐久市出身の書家とその息子（書家）の展覧会

開催時期：令和8年下半年

### (2) 佐久地域の作家に関する展覧会

概要：佐久地域出身で活躍中の作家を調査、選出し、展覧会を計画

開催時期：未定

## 3 その他の事業について

### (1) 収蔵美術資料の点検・修復

### (2) 佐久市立近代美術館のDX（デジタルトランスフォーメーション）

- ・収蔵美術資料情報のデジタル化（資料写真のデジタル化を含む）
- ・収蔵美術資料情報のデジタルデータベースシステムによる管理
- ・収蔵美術資料情報のデジタルアーカイブなど、だれでもデジタル情報を利用できるシステム構築の検討

### (3) 博物館の再登録

# 「佐久市立近代美術館」再整備に関する市民アンケート調査結果概要

## I 目的・設計・回答状況

### ◆ 目的

本アンケート調査は、竣工から41年が経過し、建物・設備の老朽化が進行している近代美術館が、再整備に向けて、市民の意向を調査することを目的とする。

「佐久市公共施設等総合管理計画」に基づく「個別施設計画」で策定している施設の適正化の計画では、美術館の機能を保持し、令和9年度以降の時期を目途に施設の長寿命化を行うとしているが、周辺施設の動向も注視し、他施設との複合化の検討も行うこととしている。

今後の近代美術館の在り方や施設の再整備の方針を策定する「基本構想」の参考とするため、市民が新しい近代美術館に期待する事項や日頃の利用状況、現在の近代美術館の活動の理解等を調査によって把握する。

### ◆ 設計

▽調査時期	2024（令和6）年11月29日（調査票発送）～ 2024（令和6）年12月27日（回収締め切り）
▽調査対象	佐久市に住む15歳以上の男女1,000人
▽調査方法	郵送

### ◆ 回答状況

▽有効回答	312人（男性144人 女性168人）
▽回答率	31.2%

【注】本報告書のパーセント数字は小数点第二位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

## II 回答結果抜粋

### 佐久市近代美術館は市民にどのくらい利用されているか

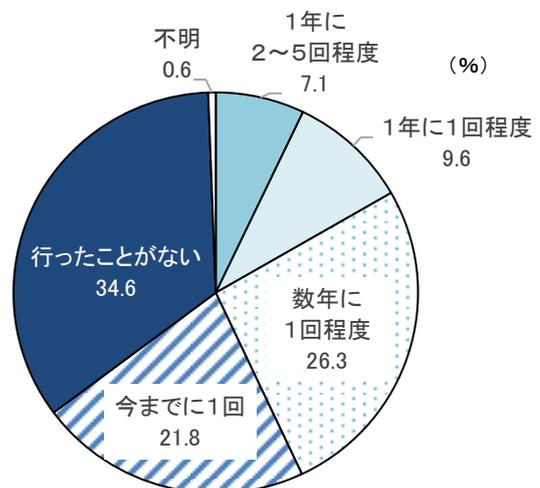
問5 あなたはどのくらいの頻度で佐久市立近代美術館に行きますか。

#### ◆ 「数年に1回程度」26.3%

「利用したことがある市民」

64.8%

佐久市近代美術館に行く頻度で最も多かったのは「数年に1回程度」の26.3%。「今までに1回」が21.8%、「1年に1回程度」が9.6%、「1年に2～5回程度」が7.1%と続く。「行ったことがない」は34.6%で、全体では最も多かった。

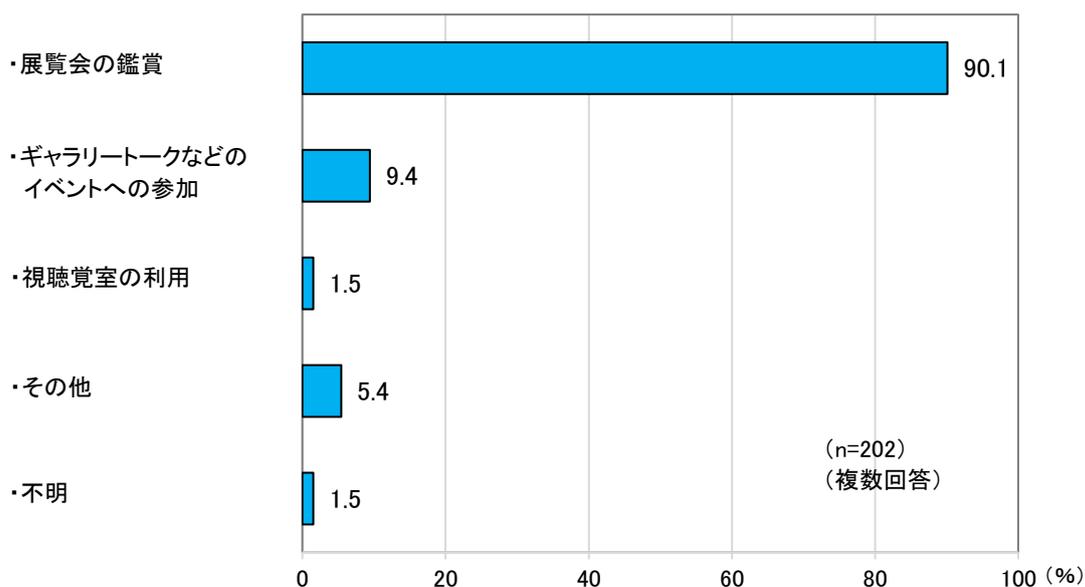


## 市民の来館目的

問7 佐久市立近代美術館に行ったことがある方にお聞きします。目的は何でしたか。

### ◆「展覧会の鑑賞」9割

佐久市近代美術館に行った目的の最多は「展覧会の鑑賞」で、90.1%と大半を占める。「ギャラリートークなどのイベントへの参加」は9.4%、「視聴覚室の利用」は1.5%。年代別では、50代は「ギャラリートークなどのイベントへの参加」が16.7%と高め。



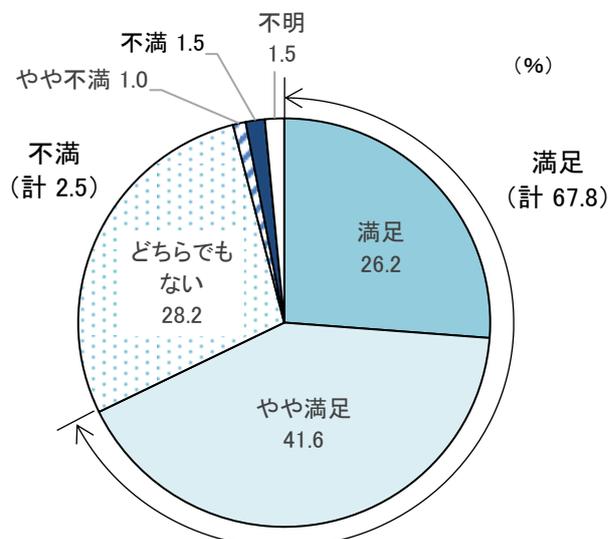
## 佐久市近代美術館を利用した市民の満足度

問8-1 佐久市立近代美術館に行ったことがある方にお聞きします。満足度はいかがでしたか。

### ◆「満足」「やや満足」合計 67.8%

佐久市近代美術館の満足度を聞いた。「満足」は26.2%、「やや満足」は41.6%で、合わせて67.8%。「やや不満」は1.0%、「不満」は1.5%と低く、「どちらでもない」は28.2%。

年代別では、10代と70代で「満足」の合計がそれぞれ90.0%、79.2%と高い。

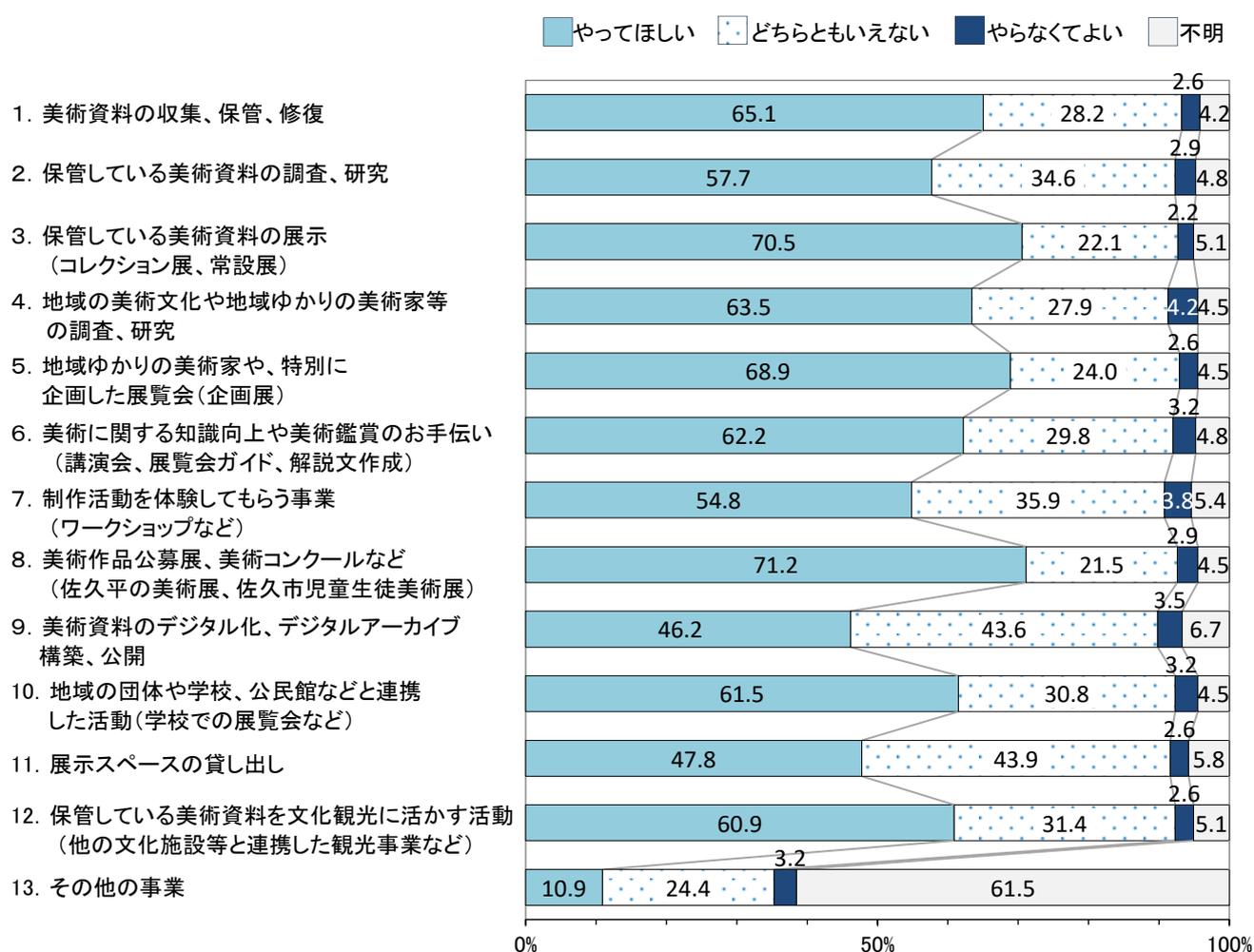


## 佐久市立近代美術館が実施している事業のうち市民が望む事業

問 9 - 2 今後、佐久市立近代美術館にやってほしい事業はどれですか。

◆「美術作品公募展、美術コンクールなど（佐久平の美術展、佐久市児童生徒美術展）」市民が自分の作品を展示できる公募展 71.2%

今後佐久市立近代美術館に望む事業を 13 項目で聞いた。「やってほしい」の回答が最も多かったのは「美術作品公募展、美術コンクールなど（佐久平の美術展、佐久市児童生徒美術展）」の 71.2%で、「保管している美術資料の展示（コレクション展、常設展）」が 70.5%、「地域ゆかりの美術家や、特別に企画した展覧会（企画展）」が 68.9%、「美術資料の収集、保管、修復」が 65.1%と続く。

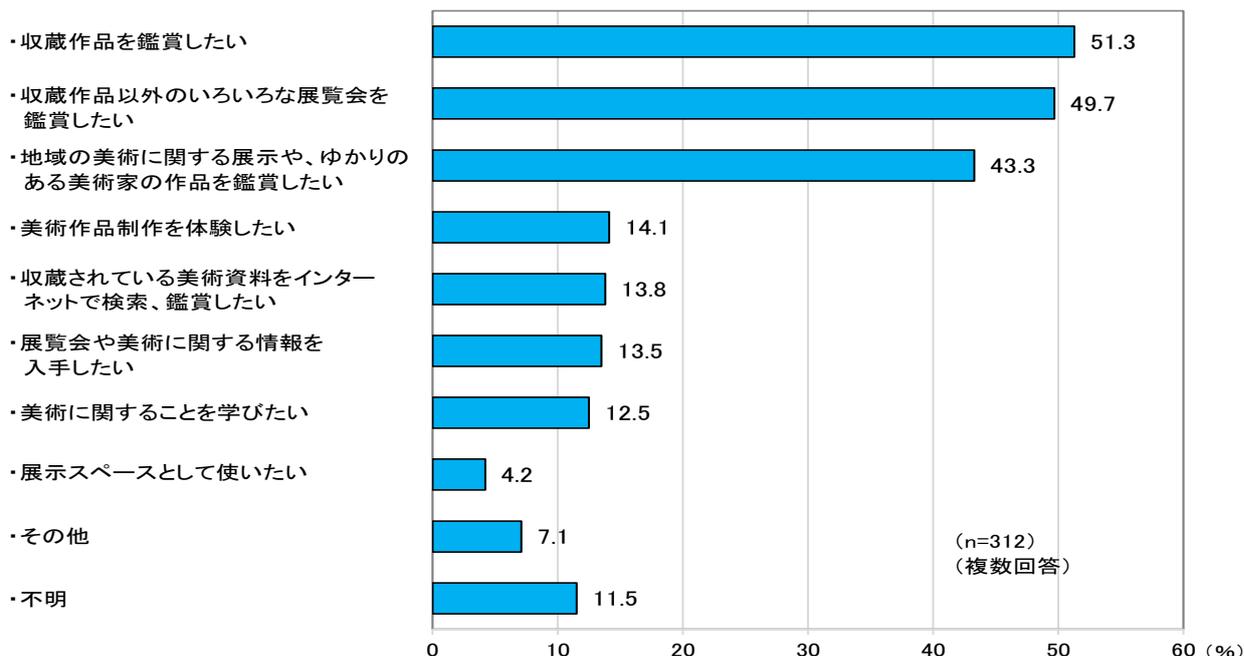


## 佐久市近代美術館の実施事業に限らず、美術館でしてみたいこと

問10 あなたが佐久市立近代美術館でしてみたいことはなんですか。

### ◆「収蔵作品を鑑賞したい」51.3%

佐久市近代美術館でしてみたいことを複数回答で聞いた。「収蔵作品を鑑賞したい」が51.3%で最も多く、「収蔵作品以外のいろいろな展覧会を鑑賞したい」が49.7%、「地域の美術に関する展示や、ゆかりのある美術家の作品を鑑賞したい」が43.3%で続き、展覧会等鑑賞の上位3項目が4割を超えた。「展示スペースとして使いたい」は4.2%

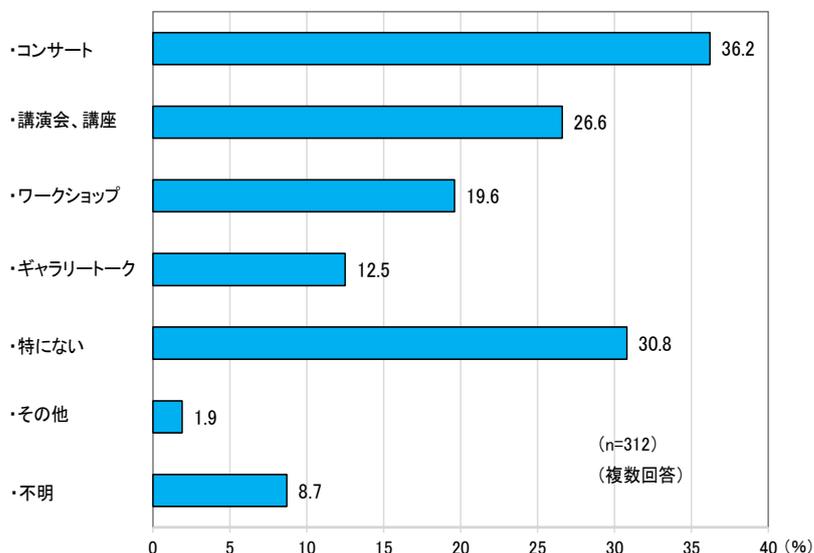


## 参加したいイベント

問11 展覧会以外で、佐久市立近代美術館でやっていたら参加するイベントはありますか。

### ◆「コンサート」36.2%

佐久市近代美術館で行っていたら参加したいイベントを複数回答で聞いたところ、最多は「コンサート」の36.2%。「講演会、講座」が26.6%、「ワークショップ」が19.6%、「ギャラリートーク」が12.5%で続く。「特にない」は30.8%。



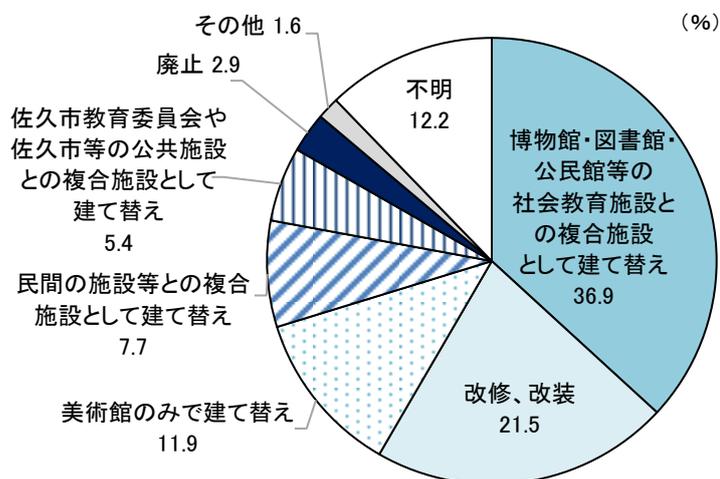
## 再整備の形態について

問12 佐久市立近代美術館の再整備の形態についてどう思いますか。

### ◆「社会教育施設との複合施設として建て替え」36.9%

佐久市近代美術館の再整備の形態について選んでもらった。最多は「博物館・図書館・公民館等の社会教育施設との複合施設として建て替え」が36.9%で、次いで「改修、改装」が21.5%、「美術館のみで建て替え」が11.9%と続く。

年代別では、10代と20代は「社会教育施設との複合施設として建て替え」が半数を超える。



## Ⅲ アンケート結果を受けて

- 1 市民が望む、利用したい美術館の傾向を明らかにするアンケート調査を実施できた。
- 2 今後、再整備の方針を策定する「基本構想」を検討していくなかで、「基本構想」に反映できるアンケート結果は可能な限り取り入れていく。佐久創造館の動向を注視しながら、スケジュールも再度検討をすすめる。
- 3 市民が望む当美術館の実施事業、市民が美術館でしてみたいこと、市民が参加したいイベントなどの結果は、再整備に限らず、通常の実業を計画する際にも参考にしていく。

## 佐久市立近代美術館 現状と課題

## I 現状

## 1. 設置

- ・設置者 佐久市
- ・所管 佐久市教育委員会
- ・運営 直営
- ・沿革

昭和 56 年(1981) 7 月 建設工事着工  
 昭和 57 年(1982) 6 月 佐久市立近代美術館条例及び同規則議決  
                           7 月 建物竣工  
 昭和 58 年(1983) 登録博物館指定  
                           5 月 開館  
 昭和 63 年(1988) 9 月 新館建設及び既設館改修のため休館  
 平成元年(1989) 11 月 新館竣工  
 平成 2 年(1990) 4 月 新装開館

## 2. 施設

単位 m<sup>2</sup>

建物	当初	現在	旧新比率
敷地面積	2,778.00	2,778.00	1:1.0
建築面積	976.586	1,569.464	1:1.6
延床面積	2,345.650	3,704.220	1:1.6

※鉄筋コンクリート造/一部鉄骨造/地上 3 階

展示・収納	当初	現在	旧新比率
展示室	1014.711	1404.985	1:1.4
収蔵庫	219.889	441.219	1:2.0
視聴覚室	144.055	144.055	1:1.0
備品倉庫	30.728	106.524	1:3.5

※展示室の内 156.790 m<sup>2</sup>倉庫の内 56.2 m<sup>2</sup>は収蔵庫・書庫に転用

## 3. 収蔵美術資料

開館時	令和 7 年 3 月 31 日現在	増加率
673 点	3,450 点	5.13

※日本画・油彩画・水彩画・素描・版画・彫刻・工芸・書・その他・二次資料

## 4. 美術館協議会

佐久市立近代美術館条例に基づき佐久市立近代美術館協議会が設けられている  
 委員定数 10 名以内 任期 2 年

## 5. 職員体制(令和 7 年度)

近代美術館 館長 1(会計年度任用職員)  
 " 事務長 1(正規職員)  
 " 係長 1( " )  
 " 係 2( " )  
 " " 1( " (再任用))

〃 〃 2(会計年度任用職員)  
 ※内学芸員資格保持者 5 名  
 ※受付業務は佐久シルバー人材センターに委託

## 6. 予算

令和 6 年度決算 歳入 2,407,860 円  
 歳出 91,314,153 円  
 基金 近代美術館充実基金 227,604,000 円  
 日向裕綾美術振興基金 8,607,000 円

## 7. 資料収集・保存

「令和 6 年度 近代美術館 事業報告」参照

## 8. 展示 (令和 6 年度)

「令和 6 年度 近代美術館 事業報告」参照

## 9. 教育普及(令和 6 年度)

- ・市内小中高校からの見学・職場体験を受け入れ
- ・公民館・図書館・近代美術館 3 館連携の施設巡り実施
- ・「教員のための博物館の日」(東京国立科学博物館主催)に参加

## 10. 佐久市立近代美術館友の会

美術に関心を持つ人々の集まりで 会員の教養・親睦を深めるとともに美術館の活動を援助し協力することを目的とする任意団体  
 会員数 71 名(令和 7 年 7 月 1 日現在)

## 11. 利用状況(令和 6 年度)

単位人

一般	高校・大学生	小・中学生	就学前児童	無料区域	合計
6,868	158	981	206	569	8,782

## II 課題

### 1. 設置

#### 博物館法

- ・令和 4 年 4 月、制定から約 70 年が経過し、多様化・高度化した博物館に求められる役割に対応するため、博物館法の一部が改正され、令和 5 年 4 月 1 日施行された。改正された同法で新たに追加された事業については、「佐久市立近代美術館条例」第 3 条 6 号で対応でき、条例改正の必要はない。

#### 博物館登録

- ・現在の近代美術館は法の規定による登録博物館であるが、改正された博物館法のもとでは、令和 9 年度末まではみなし登録博物館である。
- ・登録博物館の指定を維持するには新基準(博物館の事業等)に対応した後、令和 9 年度末までに認定されることが必要になる。

- ・県教育委員会（生涯学習課）に、現状での再申請について照会し、デジタル化等が未実施であっても登録可能であることを確認したため、令和8年度中の申請を目途に提出書類等の準備を進める。
- ・再認定されるまでは、みなし登録博物館として事業を継続する。
- ・デジタルデータベース管理については、実施計画査定時に再構築に合わせ検討するよう指示があったため、導入時期については未定である。
- ・学芸員の配置は必須であるが、資格を有する者を配置していれば学芸員としての辞令がなく一般事務と学芸業務を行っていても基準に適合していると認められる（県教委の見解）とのことであるが、美術館運営の観点から、学芸員は学芸係として配置することが適当である。

## 2. 施設

### 老朽化

- ・旧館は竣工後42年、新館は35年が経過。施設や設備の老朽化が顕著で内装・外装等含めて施設の全面的な改修が必要である。
- ・令和3年度に策定した個別施設計画では「機能保持」「長寿命化(計画的保全)」を基本方針とし、令和4年度から令和8年度中に再整備の基本構想等を策定、令和9年度以降に再整備工事を施工するスケジュールとしている。計画策定に向け、令和6年度に市民意向調査は実施したが、引き続き市民の意向を把握し、計画策定の会議を実施するなど準備をすすめる必要がある（中央図書館や駒場公園の再構築の動向も注視していく必要がある）。

### 収蔵庫

- ・開館当初と比べ収蔵資料は5倍を超えており、収蔵庫の増設が必要である。
- ・特別展示室を転用した収蔵施設は収蔵庫不足の抜本的解決ではなく、一時的なものである。
- ・施設の老朽化と収蔵庫の不足を一つの課題と捉え 課題解決方法を検討する。全面改修の方針で再構築を計画していくが、佐久創造館の閉館時期の延長や中央図書館の建替再整備の方針などの周辺施設の動向も注視、 建替えや他施設との複合化の是非についての検討も併せて行っていく。

### 設備

- ・空調・温湿度管理・監視・警備等 設備の改修が必要。
- ・照明器具LED化等 電気設備の改修が必要。
- ・以下については改修を実施した。
  - 平成20年度 旧館空調設備改修工事を施工
  - 平成29年度 旧館屋根（東側）改修工事を施工
  - 平成30年度 新館外壁（西側）改修工事を施工
  - 令和元年度 エレベーター2基改修工事を施工
  - 令和4年度 新館外壁（東側）改修工事を施工
  - 令和5年度 非常用放送設備等改修工事を施工

## 3. 収蔵美術資料

### 収蔵美術資料の経年劣化

- ・収蔵美術資料は制作後50年以上経過したものが増加し、経年劣化等がみられるため、作品の状態調査を行い、調査結果による修復計画をたて、修復を進める必要がある。

- ・収蔵美術資料の保存・修復については、2033年（令和15年）の開館50周年に向けて、「油井コレクション」の日本画作品を中心に、作品の状態調査に基づき、年1点程度の修復を継続していく。

令和7年度修復予定作品：下田 義寛《花の時》

経費の一部を補填するため「収蔵作品保存修復プロジェクト」として「クラウドファンディング型ふるさと納税」も継続して実施する。

- ・田辺光彰制作 彫刻「さく」については、5年ごとに保守点検を実施してきた（前回：平成30年 綿半鋼機 約238万円）が、より安全な作業で詳細な保守点検を行うためには足場だけで1,800万円と積算されている。保守点検の実施方法について検討が必要である。
- ・彫刻「さく」の保守点検については、令和5年度に足場を使用しない調査経費として5,148千円を予算要求したがゼロ査定であった。また、令和6年度の実施計画内示においても、今後の保守点検については再構築に合わせ再考するよう指示があり 点検方法及び時期については未定。

#### 4. 再構築

- ・令和6年度実施の市民意向調査を活かしつつ、再構築に関するスケジュール等を作成する再構築に関するワークショップを開催するなど、市民の意向の把握に努め、基本構想案の作成を進める。

#### 5. 利用者数

- ・コロナ過で減少した利用者数が徐々に回復してきているものの目標観覧者数には達していない。昨年度は文化庁が実施する「博物館機能強化推進事業（専門的人材派遣）」を通して広報のありかた等について専門家のアドバイスも受けたが、さらに工夫と予算が必要である。